

BOAT RACER'S HOTLINE

前原哉

Chika MAEHARA

成績は7月22日 現在

登番	支部	出身	期	年齢	級	前期勝率	通算勝率	通算1着	通算優出	通算優勝	2023年賞金	生涯賞金
4853	岡山	岡山	115	29	B1	4.16	3.80	96	3	1	449万円	7069万6705円

3児の母となっても経験値が生きて変わらぬ活躍 A級昇格と優勝を目指してママさんレーサー奮闘中



○ボートレーサー以外はダメ！
お父さんは元競輪選手の前原雄大さん。

そうなんです。小さい頃から父が自転車の選手だという認識はあって、そんな父から「将来はボートレーサー以外はダメだ！」と言われていました。例えば「学校の先生を目指したい」と言ってもダメでした。もしボートレーサーの試験がどうしても受からなかったら、ガールズケイリンの選手になることも少しは考えていました。それでも私の将来の道は基本的にボートレーサーだけでした。父も「プロの世界で、自分の力で勝負して欲しい」と考えていたのかな…と思います。弟（前原大道選手）も同じことを言われていましたよ。

養成所の受験は？

高校は卒業したんですが、養成所に合格したのは8回目でした。結構苦労しましたね。養成所での生活は、ボートに乗ることは楽しかったです。整備とか機械的な面は得意ではなかったですけど。あと自由がない生活でしたが、その点に関しては苦にならなかったですね。やっぱり選手になりたいという思いが強かったです。

14年11月、児島でデビュー。

デビュー当初はフライングが多くて、休みも多くなり、なかなか結果が出なかった。事故が多くて遠回りの感じですね。

そんな中、17年10月の丸亀男女混合戦でデビュー初優勝の快挙。

予選は7位だったんですが、自分が勝った準優勝戦で1号艇と2号艇の選手がフライング…。私のエンジンが出ていて警戒していたこともあったと思います。その前の2つのレースも1号艇の選手が勝ち切れなくて、運良く優勝戦の1号艇が巡ってきたんです。

初優出が1号艇。

レースまでは「ガクブル」していました。ただ三嶋誠司選手に「大丈夫だよ！」と言ってもらって。その言葉で普通に走ることができました。今振り返ると、自分がまだ若すぎて何も考えてなかったのかなあ…とも思います。

○ママさんレーサー

その後は3回の出産を経験。

他のスポーツだと長く休んで結果を出すことは大変だと思えます。ただ、ボートレースは比較的、休んでも結果は出しやすいかな…という感覚はあります。1人目を出産した後のレースは怖いと感じることはあったけど、2人目からは何となくは乗れるかな…と。自分がしっかり練習して、準備をして臨めば、体は反応してくれると思います。

スタート勤も体に染みついている？

そこに関してはたぶん私、スタート勤がないので(苦笑)…難しい面はありますけどね。

現状の課題は？

エンジンの良し悪しに左右されがちですね。いい時はノーハンマ―や微調整で行ける時が多い。6

月に優勝戦に進出した住之江もいいエンジンで微調整で行けたんです。ただ、悪いエンジンを調整で仕上げた…という経験はあまりないですね。重視しているのは乗り心地。自分は握って回りたいタイプなので、安心して回れるようにしたいです。

お子さんの存在は励みになる？

もちろん。一番上の子供が今6歳で、私がボートレーサーという認識はあるんです。いい成績を取ったレースでは帰った時に「一番だったね！」って言ってくれます。ただ、悪い成績の時はあまり触れてこないです。

将来的にはお子さんもボートレーサーに？

一番上の子は、レーサーになったら私と一緒にレース場にいることができると思ってレーサーになりたいと思ってるみたいなんです。普段、私が家にはいないことが多いからでしょうね。ただ、実際は厳しい世界でもある。自分が父に言われたように「レーサーになれ」とは言わないし、危ない面もあるからできればなって欲しくなかな…。ただ、子供が「なりたいたい」って言ったなら止められない…と思います(笑)。

今後の目標は？

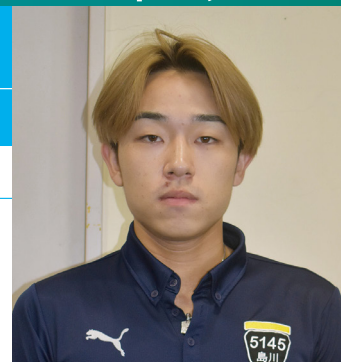
まずはA級に上がることですね。やっぱり、GIレースを走りたい。そして、また、優勝したいですね。将来的には続けられるところまでレーサーでいたいという思いはあります。

BOAT RACER'S HOTLINE

島川海輝

Kaiki SHIMAKAWA

登番	支部	出身	期	年齢	級	前期勝率	通算勝率	通算1着	通算優出	通算優勝	2023年賞金	生涯賞金
5145	山口	山口	126	21	B1	4.93	3.91	84	8	3	2245万3000円	5561万6509円



将来が期待される下関フレッシュルーキー 偉大な先輩のアドバイス「たくさん失敗しろ」

○順調に成長中

「ボートレーサーを目指したきっかけは？」

漠然と「ボートレーサーがカッコいい」という思いがあったんですよね。野球をやっていました。小学校の頃には将来的に「ボートレーサーになるう！」と決めていました。近所にレース場があったというわけではないんですが、大きなレースの時には見に行ったりしていました。徳山で白井英治選手が優勝したグラウンドチャンピオンもレース場に行きました。自宅のある山口県だけでなく、若松や芦屋も親に連れて行ってもらっていました。

「デビュー2か月目に初勝利。」

初1着は覚えていますが、その節に2勝目を挙げられたんですが、その次のレースでフライングしました。

「デビュー以降は順調に成績を上げています。」

自分としては成長が遅いと思っています。同期(126期)には常住連選手や大澤風葵選手がいますから。全然満足していません。

「デビュー6期目から急上昇し、1着回数が一気に2桁に。」

コースを取り出したことが大きいと思います。その期からすべてのコースを取ることを解禁したんです。初優出したときに師匠の末永祐輝さんと同じ節だったんですが、「今節から内のコースに入ってもいい」と言われて、優勝戦まで進むことができました。

「前期はA級に昇格して中国地

区選手権も経験。

地区選手権はシビアでした。コースも取りましたけど、結果が出なかった。エンジンは出ているんですが、しっかりと走らないとすぐやられてしまう。白井英治選手とも、師匠とも同じあっせん濃い1節間でした。

「新期は勝率6点オーバーの好リズム(7月4日時点)。」

エンジンの良い、悪いに関係なく、ある程度足が仕上がるようになってきました。特に大きく変えたことはないんですが、これまでの積み重ねで引き出しも増えてきたのかな…と思います。このまましがみついて、A1級に上がりたいです。

「島川海輝が求める足とは？」

全部ほしいけれど、やっぱり伸びが下がると話にならないですね。乗り心地よりも、まずは伸びを求めます。調整は決まっているパターンがないです。エンジンに依って…ですね。理想的なレースはまくり差しですが、どのレースでもまくれるぐらいエンジンは出しておきたいですね。しっかりとエンジンが出せればどのレースも簡単になると思います。

○高身長レーサー

身長171cmの高身長。

体は細い方なのですが、この体型で体重52kgでいるのは結構きついですね。むりくりこの体重に持つて行っているという感じはあります。減量は日頃から気をつけています。まず食べない…という感

じ。ただ最近では、レース場に入ってからしつかり落とすように…とやり方を変えています。その方が、気持ちのスイッチも切り替わりやすい。開催中はサウナに入ったりしますが、食事はあまり取らないですね。

「オフはそれなりに食べる？」

普通の人よりは食べないですけど、お腹が空いたら食べますね。ただ、ラーメンとかは食べないです。お肉も脂身が食べられなくて…。野球をやっていた頃はめっちゃくちゃ食べていたんですが、体重は増えなかったですね。

「高身長のメリットは？」

ターンではしつかり体を使える…という面はあるかな。ターンの角度は違うと思います。ただ、低い人ですごいターンをする人もいますけどね。

「先輩・白井英治選手も高身長。」

白井さんには技術的な面よりも気持ち的な面でアドバイスをもらっています。「焦らずに：10年後なり、先で活躍できる選手になるために土台を作れ」といったことをよく言われます。そして今は「たくさん失敗しろ」とも。目先の成績にはあまりこだわらないようにしています。

「将来の目標は？」

グランプリとかもちろん取りたいですけれど、上の舞台に常になりたい。一発屋とかではなく、長くと上のステージで活躍したいです。白井選手や大先輩の今村豊さんのように長く活躍できる選手になりたいですね。